

第33回

藤里町交通安全町民大会

10月29日、総合開発センターにおいて、第33回藤里町交通安全町民大会が開催され、交通安全功労者や交通安全作品コンクール入賞者を表彰するとともに、交通安全運動への取り組みや意識を高め、町民一丸となって事故防止運動を積極的に展開することなどの大会宣言案を採択。事故のない安全で安心な町づくりを誓いました。

本大会は、悲惨で恐ろしい交通事故を町民総ぐるみで防ぎ、安全で住みよい町を目指すとともに、町民一人ひとりの交通安全意識を高めようと、毎年開かれていたもので、この日は、藤里町交通指導員をはじめ、各地区の交通安全推進員や関係者など、100名余が参加しました。

初めに、交通事故犠牲者に黙とうを捧げ、続いて成田副町長よりあいさつが述べられたあと、交通安全功労者の方々と交通安全作品コンクール入賞者に対して表彰状と記念品が贈られました。

その後、浅利教育長から交通安全作品コンクールの審査講評が報告され、続いて作文の部で最優秀賞を受賞した児童1名、優秀賞を受賞した3名を代表して中学生1名が作文の朗読をしました。

そして、最後に藤里町交通安全母の会代表が大会宣言案を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

交通安全功労者

◇市川勇樹さん（朝日ヶ丘団地）
◇市川幸春さん（愛宕第二）

交通安全作品コンクール

【作文の部】
《最優秀賞》
◇三浦紗樹さん（藤里小学校4年）
「安全で安心な藤里町」
《優秀賞》
◇伊藤絵梨華さん（藤里中学校3年）
「一人一人の心がけ」
◇淡路海地さん（藤里小学校2年）
「こうつうルールをまもるよ」
◇中嶋匠智さん（藤里小学校2年）
「ちゃんとまもろう、こう通あんぜん」

《入選》

◇古川優奈さん（藤里中学校1年）
「死亡事故ゼロ継続」
◇東郷海斗さん（藤里中学校3年）
「自分でつくる交通ルール」
◇高橋夏蓮さん（藤里中学校3年）
「交通事故を減らすために」
◇佐々木智敬さん（藤里小学校5年）
「虫にも動物にもやさしい藤里町」

【ポスターの部】

《最優秀賞》
◇臼井陽菜さん（藤里小学校2年）
「手をあげて 交つう安全」
《優秀賞》
◇市川はまれさん（藤里小学校4年）
「たしかめて いつ飛び出すか わからない」

◇三谷ひよりさん（藤里小学校5年）
「目をはずす油断が 命を見はなす」
《入選》
◇山田妃恵さん（藤里小学校1年）
「みぎてを たかく」
◇中嶋匠智さん（藤里小学校2年）
「とび出し ちゅうい」
◇石岡暖陽さん（藤里小学校3年）
「いんしゅうんてん ぜったいやめよう!!」

◇藤田菜央さん（藤里小学校5年）
「飲酒運転命をうばう」
◇石岡美夢さん（藤里小学校6年）
「シートベルト忘れない 大切な命守るため」

作品紹介

『安全で安心な藤里町』



三浦紗樹さん

私は、三年生の夏に藤里小学校に転校してきました。前は秋田市に住んでいました。秋田市には、大きな通りがあり、車も多かったです。交通事故で人がなくなつたというニュースを聞くと「こわいなあ。」と思いました。信号がない道路をわたるときは、とてもこわかったです。おつかいに行くときは、そこをあまり通らないようにしていました。遠回りになつても、あまり車がこない細い道を通っていました。藤里町に住んでは、道路を歩いていてこわいと思うことはなくなりました。車の量が少ないこともあると思いますが、町の人たちが、ゆずりあい、注意しあつて生活しているからだと思います。

今、私は、毎日歩いて登下校しています。いとくの前の通りは歩道がなく、歩く場所も狭いのですが、車がすれちがうときに速度を落としてくれます。私は、父と自転車で行けることがあります。中学校へ向かうT字路にさしかかったとき、反対側から来た車が道をゆずってくれました。とつても心が温かいなと思いました。おたがいに、いつもゆずりあっているから事故も少ないのだと感じます。

そして、私がこの町ですごくいいと思ったのは、交通事故が四千三百日以上起こつ